

大竹英洋 写真パネル展

ノースウッズ

生命を与える大地



2025.11.29(土) - 2026.1.25(日)

休館日:毎週月曜日、年末年始(12/28~1/5)、1/13(火)、1/23(金)

東近江市立八日市図書館 2階ギャラリー・集会室

講演会

「そして、ぼくは旅に出た。ノースウッズ・生命を与える大地」

1/
土 17

14:00
▼
16:00

八日市図書館 集会室 定員 50名 (中学生以上) 要申込

北米・ノースウッズ地方で半生をかけて撮影を行う、写真家・大竹英洋氏。ノースウッズを旅し、写真を撮ることになった経緯や作品づくりにかける思いをお話しいただきます。

ノースウッズの自然や出会った動物たちについて、写真を見ながら大竹さんのお話を聞きします。オオカミの遠吠えの実演もあります。



1/
日 18

子ども向けのおはなし

「もりはみている

北の森にオオカミをさがして」

10:30
▼
12:00 定員 40名 (5歳以上) 要申込



『もりはみている』
福音館書店



小さなお子さんにもわかりやすくお話しいただけます。また大竹さんによる絵本の読み語りもありますので、ぜひ親子でご参加ください！



動物も、草木も、人間も、
さらには、岩や水、火や風や雪といったあらゆる存在が、
この地球から命を与えられ、生かされている

『ノースウッズ 生命を与える大地』より

世界最大級の原生林と湖水が広がる、北米・ノースウッズ地方。ノースウッズへ20年にわたり通い続け、撮影を行う大竹英洋さんの写真パネル展と講演会を開催します。厳しくも美しいノースウッズの自然と、そこでたくましく生きる動物たちの姿をまっすぐな眼差しで捉えた写真の数々をぜひご覧ください。

■ノースウッズ:参考地図



展示協力:公益財団法人せたがや文化財団 世田谷文学館

PROFILE

大竹 英洋 (おおたけ ひでひろ)



1975年京都府生まれ、東京都育ち。写真家。

1999年よりアメリカとカナダの国境付近から北極圏にかけて広がる湖水地方・ノースウッズをフィールドに、野生動物や自然と人間との関わりを追って撮影を続けている。著書に『ノースウッズの森で』『もりはみでいる』(福音館書店)、『そして、ぼくは旅に出た。はじまりの森ノースウッズ』(あすなろ書房*)ほか。

2021年、写真集『ノースウッズ 生命を与える大地』(クレヴィス)で第40回土門拳賞受賞。NHK「ワイルドライフ」、「ダーウィンが来た！」にも出演。



* 現在は文藝春秋より出版



東近江市立八日市図書館

〒527-0028 滋賀県東近江市八日市金屋二丁目6番25号

☎ 0748-24-1515 / IP 050-5801-1515

申込みは図書館窓口、電話もしくは図書館ホームページから

【交通アクセス】

- 電車: JR 東海道本線(琵琶湖線)「近江八幡駅」下車、近江鉄道(八日市線)に乗り換えて「八日市駅」下車、徒歩15分
- 車: 名神八日市ICより国道421号線を西へ10分

